寄セ両名ヲ争議団本部ニ拉致シ暴行シタル事實アリ所轄千住
署ニ於テ

松本與三郎　遠峯富次　内田政雄
大川義次　菊地正二　菊地吉三郎
永田与助　松橋政吉　遠峯一郎
宮川學

ノ十名ヲ検束取調ヘノ結果　送局ノ程度ニ至ラサルヲ以テ説
諭ノ上放還セリ
去ル十二日未加入職工係山倣次ニ暴行セル容疑者トシテ本月
十三日争議団員川村竹哉ヲ所轄千住署ニ同行ノ上取調中
ナリ
右及申（通）報候也

別紙

檄

親愛なる各支部員諸兄

吾々南田鉄工所従業員は二月に東京鉄工組合に加盟して屋柳支部を組織して我等の城塞を作った。然るに其工場主は事毎に組合員を圧迫して共和会式の罪名の下に幹部を次々解雇したのである。
其の不当なる解雇に対し明かに組合規約である之れに対し　極力反対運動を起して努力する従業員
解雇者の復職と休業中の日給支給を條件に二ヶ月解決せず努力である……が其の陰険陽に
会社は卑怯にも其の別に組合破壊の一二の徒を買収して居る者に三割の賃銀値下を断
行して置きながら会員の値下発表をしない様としてある……それには労働組合を破壊
しなければならないと言って職工全部を利用して是れが破壊運動を起して来たのである、
それで労働組合の幹部の信用を失墜させるために解決條件の履行しない事など言って解
雇者の日給を数回支給せしも未払は有るのである、
亦メーデーに組合員が参加したる後で工場内で反動従業員を集めて労働組合破壊の協議会を開き工場主自ら演壇に立つて一所やったのである。而してメーデーの翌日工場に出勤して見ると組合員の作業
場は全部閉鎖されて居たので直ちに交渉十余人を… 反動従業員の